

三角関数を合成して

★解法の技術★

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin\theta - \cos\theta$  の最大値と最小値を求めなさい。また、そのときの  $\theta$  の値を求めなさい。

【考え方】  $\sin\theta$  と  $\cos\theta$  の混合式は、合成や公式を用いて  $\sin\theta$  (または  $\cos\theta$ ) だけの式に変形します。

[考える手順]

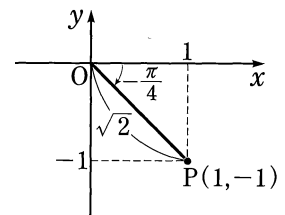
1 三角関数の合成

[答 案]

$$y = \sin\theta - \cos\theta$$

$$= \sqrt{2} \sin\left(\theta - \frac{\pi}{4}\right) \quad \leftarrow \text{図からすぐ求める}$$

$\leftarrow (\theta + \frac{7}{4}\pi)$  でも答は同じ



2 合成後の範囲

$0 \leq \theta < 2\pi$  より、

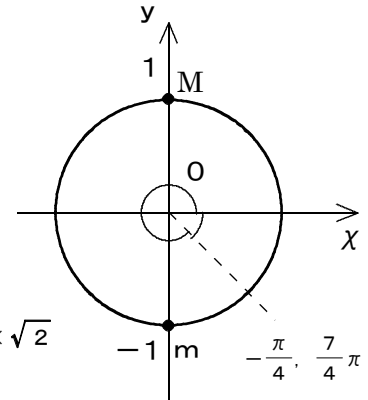
$$-\frac{\pi}{4} \leq \theta - \frac{\pi}{4} < \frac{7}{4}\pi$$

3 その範囲内での最大値, 最小値

この範囲で、右図より、

$$-1 \leq \sin\left(\theta - \frac{\pi}{4}\right) \leq 1 \quad \leftarrow \text{sinはy座標}$$

$$-\sqrt{2} \leq \sqrt{2} \sin\left(\theta - \frac{\pi}{4}\right) \leq \sqrt{2} \quad \leftarrow \text{辺々} \times \sqrt{2}$$



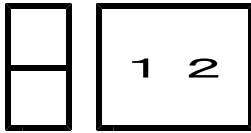
M...最大値  
m...最小値

4  $\theta$  の値と最大値, 最小値

よって、右図より、

$$\theta - \frac{\pi}{4} = \frac{\pi}{2}, \text{ つまり } \theta = \frac{3}{4}\pi \text{ で、最大値 } \sqrt{2}$$

$$\theta - \frac{\pi}{4} = \frac{3}{2}\pi, \text{ つまり } \theta = \frac{7}{4}\pi \text{ で、最小値 } -\sqrt{2}$$



第3章 三角関数 2・三角関数の加法定理

3 三角関数の合成 (その2)

(2/6) ■ 三角関数の最大・最小② ■

◇ 《三角関数の最大・最小②》 **学力化** → /

★理解のチェック★

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sqrt{3} \sin \theta + \cos \theta$  の最大値と最小値を求めなさい。また、そのときの  $\theta$  の値を求めなさい。

【考え方】  $\sin \theta$  と  $\cos \theta$  の混合式は、合成や公式を用いて  $\sin \theta$  (または  $\cos \theta$ ) だけの式に変形します。

[考える手順]

1 三角関数の合成

[答 案]

$$y = \sqrt{3} \sin \theta + \cos \theta$$

◀ 図からすぐ求める



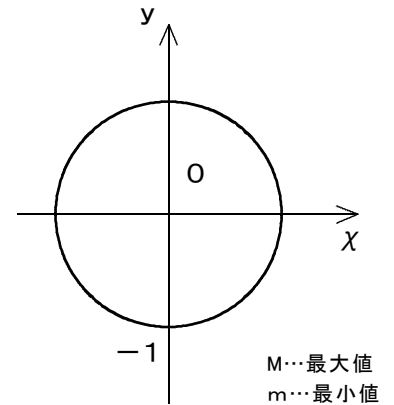
2 合成後の範囲

$$0 \leq \theta < 2\pi \text{ より,}$$

3 その範囲内での最大値, 最小値

この範囲で、右図より、

◀  $\sin$  は  $y$  座標

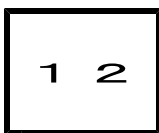
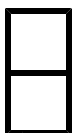


◀ 辺々  $\times 2$

4  $\theta$  の値と最大値, 最小値

よって、右図より、

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



第3章 三角関数 2・三角関数の加法定理

3 三角関数の合成 (その2)

(3 / 6) ■ 三角関数の最大・最小② ■

◇ 《三角関数の最大・最小②》 **学力化** → /

★演習★【1】

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = -\sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$  の最大値と最小値を求めなさい。また、そのときの  $\theta$  の値を求めなさい。

[考える手順]

1 三角関数の合成

2 合成後の範囲

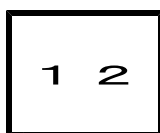
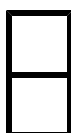
3 その範囲内での  
最大値, 最小値

4  $\theta$  の値と  
最大値, 最小値

[答 案]

$$y = -\sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$$

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



第3章 三角関数 2・三角関数の加法定理

3 三角関数の合成 (その2)

(4 / 6) ■ 三角関数の最大・最小② ■

◇ 《三角関数の最大・最小②》 **学力化** → / .

★演習★【2】

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、 $y = \sin \theta - \sqrt{3} \cos \theta + 1$  の最大値と最小値を求めなさい。  
また、そのときの  $\theta$  の値を求めなさい。

【考え方】 合成するのは、 $\sin \theta - \sqrt{3} \cos \theta$  の部分だけです。

+ 1 の部分は、最大値や最小値に影響を与えます。

[考える手順]

1 三角関数の合成

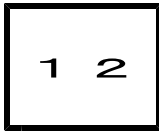
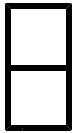
2 合成後の範囲

3 その範囲内での  
最大値, 最小値

4  $\theta$  の値と  
最大値, 最小値

[答 案]

$$y = \sin \theta - \sqrt{3} \cos \theta + 1$$



第3章 三角関数 2・三角関数の加法定理

**3** 三角関数の合成 (その2)

(5 / 6) ■ 三角関数の最大・最小② ■

◇ 《三角関数の最大・最小②》 **学力化** → / .

★演習★【3】

次の関数の最大値と最小値を求めなさい。(1), (2)については, そのときの $\theta$ の値も求めなさい。

\* (1)  $y = \sin \theta - \cos \theta$  ( $0 \leq \theta < 2\pi$ )

(2)  $y = \sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$  ( $0 \leq \theta \leq \pi$ )

(3)  $y = 2 \sin \theta - \sqrt{5} \cos \theta$

【考え方】(1)は, ★解法の技術★で学習済みです。分かる人はこの問題は解く必要はありません。もちろん, もう一度解いてもかまいませんが…。

(2)  $\theta$ の変域がこれまでの問題と違います。最大値や最小値を図から正しく読み取る必要があります。

(3) 合成による角 $\alpha$ を具体的に数値で表せないタイプの問題です。

(この型の解き方については, No.11sを参照して下さい。)

また,  $\theta$ に条件がないので, 角は一般角で表現します。

(例)  $\pi + 2n\pi$  ( $n$ は整数)など

[考える手順]

**1** 三角関数の合成

**2** 合成後の範囲

**3** その範囲内での  
最大値, 最小値

[答 案]

(2)  $y = \sin \theta + \sqrt{3} \cos \theta$

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。

□ □ 【三角関数の加法定理 No. 1 2 (5 / 6)】 - 〈2枚目 / 2枚〉

→ (前のページからのつづき)

4  $\theta$  の値と  
最大値, 最小値

1 三角関数の合成

$$(3) y = 2 \sin \theta - \sqrt{5} \cos \theta$$

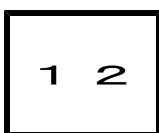
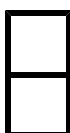
2 合成後の範囲

( $\theta$  の範囲は与えられていない)

3 その範囲内での  
最大値, 最小値

4  $\theta$  の値と  
最大値, 最小値

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。



第3章 三角関数 2・三角関数の加法定理

**3** 三角関数の合成 (その2)

(6 / 6) ■ 三角関数の最大・最小② ■

2倍角の公式の利用 / 三角関数を合成して

◇ 《三角関数の最大・最小①②》 **学力化** → / .

★演習★【4】

$0 \leq \theta \leq \pi$  のとき、次の関数の最大値と最小値を求めなさい。

(1)  $y = \cos 2\theta - 2 \sin \theta$

(2)  $y = \sqrt{3} \sin \theta - \cos \theta$

【考え方】 (1) 2倍角の公式を使う。 → プリントNo. 10 (1 / 4) 参照

(2) 三角関数の合成を使う。 → プリントNo. 12 (1 / 6) 参照

[考える手順]

[答 案]

**1** 角の大きさをそろえる

(1)

**2**  $\sin \theta = t$  とおき、  
 $t$  の範囲を求める

**3** 関数  $y$  を  $t$  で表し、  
その最大値、最小値  
を求める

(次のページへつづく) →

ブラウザのバック矢印で前の文書に戻って下さい。

□ □ 【三角関数の加法定理 No. 1 2 (6 / 6)】 - 〈2枚目 / 2枚〉

➔ (前のページからのつづき)

4  $\theta$  の値を求める

5 答えを書く

よって,

---

1 三角関数の合成

$$(2) y = \sqrt{3} \sin \theta - \cos \theta$$

2 合成後の範囲

3 その範囲内での  
最大値, 最小値

4  $\theta$  の値と  
最大値, 最小値